



この冬も年末年始をはさんで彩とりどりのイベントがありました！12/7「おおたかキッズ HappyChristmas 2025」はダンスショーや音楽会、おはなし会、工作イベントで盛り上がりました。このほか12/11「おと♪あそび&ミニコンサート」、12/13「書初めポイント教えます！」を開催。また、年が明けて、1/18「菊池省三先生教育講演会」(共催・東葛教育会館)にも多数の参加がありました。2/1の「小鳥の巣箱作り」(共催・NPOさとやま)では、市野谷の森の小鳥たちのために巣箱を作って、森の中の樹にかけられました。(星野)

季節の選書

チューリップさいた



『チューリップさいた』
作・くすのきしげのり
絵・よしむらめぐ
Gakken

今日はみんなで春を探してお絵かきをする日！人と違う絵を描くしごくにみんなは「へんだよ！」と言いますが、この絵を描いたのには理由があって……。みなさんも悪気なく口にした言葉で相手とすれちがってしまったことはありませんか？ そんな時、みなさんならどうしますか？
このおはなしで、自分の気持ちを伝えるだけでなく相手の気持ちを想像して伝えることが大切だと気付ききっかけになるかもしれません。かわいいチューリップの絵とあわせて、親子でぜひ楽しんでみてください。(こども図書館・高藤)

編集後記

今年(2026年)は、昭和元年(1926年)から起算してちょうど満100年。昨年あたりから、昭和回顧を特集する新聞・雑誌や、関連書籍を見かけるようになりました。平和が遠のくように感じられる昨今の世界情勢をみるにつけて、激動と変革のあの時代を、教訓として振り返るよい機会のようにも思えます。ちなみに、昭和への改元は大正15(1926)年12月25日ですから、昭和元年は7日間で暮れることになりました。最後の年、64年は昭和天皇崩御の1月7日まで、奇しくも7日間でした。100年つながりの余談ですが、今年にはモネ(印象派画家)やガウディ(世界遺産「サグラダ・ファミリア」の建築家)の没後100年、マリリン・モンロー(女優・歌手)は生誕100年でもあります。(編集・星野)

特集 おおたかの森センターを訪れたらぜひ立ち寄りしたい、流山市立こども図書館をご紹介します。(中面)



Oh! taka Journal

流山市おおたかの森センターと 2026年春号

地域をつなぎ 寄り添うジャーナル誌。 **Vol.11**

[編集・発行] 流山市おおたかの森センター
〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西 2-13-1
TEL.04-7159-7031 FAX.04-7159-7062 Nagareyama City Otakanomori Center 2-13-1 Otakanomori Nishi, Nagareyama City, Chiba 270-0128, Japan
[発行日] 2026年3月15日
[印刷] 流山市おおたかの森センター [責任者] 野口恵一
Instagram @otakanomori_cente X @otakanomoriCity



おおたかの森センターからのお知らせ

一気に春を感じるこの頃となりました。新しい季節を迎えるにあたって、おおたかの森センターのイベントにぜひ参加してみませんか？ 特別企画「春休みこどもワークショップ」では樹脂粘土を使ってかわいいオリジナルカップケーキ型メモスタンドを作ります。このほか未就学児と保護者向けの「わくわく親子体操」や、5歳以上の親子向け「親子星空探検隊」、おもちゃドクターがこわれたおもちゃを治してくれる「おもちゃ病院」もあります。小学生以上対象の「レッツ★ダンス」では6/28開催の「キッズ★フェスタ 2026」に向けて練習を開始。おおたかの森お囃子会の方が太鼓や篠笛を指導する「おおたかの森センターお囃子会」もぜひお楽しみに！ 少し先になりますが、非常食の作り方や、水消火器、こども用防火服、AEDなど、ご家族で様々な防災体験ができる「家族の絆防災」も開催予定です。イベントのご予約・お問合せはおおたかの森センターまで。詳細は『広報ながれやま』、センターHP等をご確認ください。(谷澤)



「親子星空探検隊」会場風景

流山市立おおたかの森こども図書館

こども図書館は、おおたかの森センターと同じ建物の2階にあります。当センターと同じ平成27年4月にオープンし、キッズ★フェスタやクリスマス会などのイベントを協同して開催しています。今回はこども図書館特集です。(島中)



おおたかの森こども図書館は、千葉県内では2例目となる児童書を集めた図書館としてオープンしました。館内には絵本や児童書、子育て関連図書などを中心に約14,000冊の蔵書が並びます。絵本の棚に囲まれた「えほんのひろば」

ではスリッパを脱ぎ、絨毯の上で自由に絵本を楽しむことができますのが特徴です。毎週金曜日には同場所で『よつばぐみおはなし会(赤ちゃん向けのおはなし会)』を開催しています。

「こども図書館」という名前ですが、年齢制限なくどなたでもご利用が可能です。市内の他図書館にある資料を予約する際に受取場所を「こども図書館」に設定することで、希望資料をこども図書館で受け取ることができます。また、併設小中学校がお休みの土日祝日限定で学校図書館座席を学習席として開放しています。



流山市立おおたかの森こども図書館

流山市おおたかの森西2丁目13番地1 TEL. 04-7159-7041

開館時間 ● 10:00~17:00

- 休館日 ● 月曜日(祝日、夏季月曜開館日を除く)
- 月曜日が祝日の場合は直後の平日
- 月の末日(土曜・日曜・祝日、夏季月曜開館日を除く)
- 年末年始および特別整理期間



わんわん読書会



当館は「ちいさなこどもから楽しめる図書館」を目指しています。館内の絨毯はどこに座ってもいいし、どの本を取り出して読んでも大丈夫。年齢や興味にあわせた絵本選びのご相談もスタッフにお任せあれ。声を出しても良い環境のため、図書館デビューにもオススメです。

イベントも季節ごとに開催しておりますので、お散歩がてらのご来館お待ちしております。



Oh!散歩 ながれやま 第10回

ギャラリーよし

流山市加 4-1693-2

2月下旬、2年ぶりに春一番が吹いた翌日に「ギャラリーよし」を訪れた。「ギャラリーよし」は流鉄流山駅から徒歩12分のところにある。近藤勇の陣屋跡、一茶双樹記念館、白みりんミュージアムといった本町通りの観光スポットからも散歩圏内である。春を感じる昼下がりにお邪魔すると満面の笑みで店主の小坂義弘さんが出迎えてくれた。

店内は、様々な焼き物が展示され、まさに陶磁器博物館に似たような面持ちである。伺った日は、備前焼の企画展を開催中であった。小坂さんは大阪の商社勤務で、関東進出に伴って横浜に転居。横浜で陶芸教室に通ったこともギャラリーを開くきっかけになったとお聞きした。小坂さんのポリシーは、47都道府県の作家さんをめぐり、若手の陶芸家を



店主・小坂義弘さん

後押しすること。実際に若手陶芸家に会って、時には酒を酌み交わし陶芸談議に花を咲かせることもあるそうだ。流山にギャラリーを開いて25年。84歳の今も陶芸に対する情熱は衰えず、作家さんの話にも熱がこもる。3/28から「10人のHANDMADE作家展」が始まる。春風をまとい散歩がてらギャラリーを訪れてはどうだろうか。お気に入りの一品に出会うかもしれない。私は、益子焼のマグカップと出会ってしまった。(野口)



小坂さんの作品



多数の作品が並びギャラリー

あなたは大丈夫？ フレイル予防講座

2月3日と24日に2回シリーズでフレイル予防講座を行いました。加齢とともに心身の活力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態が「フレイル」です。フレイルから介護につながる危険信号を見逃さないための予防法を、明治安田生命保険相互会社の古澤弓枝課長を講師にお招きして、学習編(フレイルとはどんな状態なのかを解説し、予防に欠かせないチェック方法を講師とともに体験しながら学ぶ)と実践編(予防にはどのようなことが必要なのかを具体的なアクションプラン作成の視点で解説し、さらに、もし介護が必要になった場合の費用や備えについて考える)で丁寧に解説していただきました。

ご参加された方からは、生活スタイルを見直すきっかけになった、有意義な時間だった、など好評なご意見をいただき、フレイル予防の大切さを考える機会になったと確信しています。

当センターでは、今後もシニア層の方々向けの講座の開催を予定しています。(島中)



熱心にご受講いただきました



講座終了後の健康測定会

館長一筆箋

ミラノ・コルティナオリンピックも終わり日本は過去最多の24のメダルを獲得。

その余韻はまだ覚めず、感動が体の中を駆けめぐっている方も多いのではないのでしょうか。日本選手団は、約120人です。メダルには届かなかったが8位入賞という素晴らしい成績を残した数は23。世界で8位に入ることは、才能と日々のストイックな修練があったからに違いありません。入賞を逃した選手の皆さんも多くの汗と涙を流したのではないのでしょうか。日本人のみならずオリンピックに参加した約2,700名のアスリートに大きな拍手を贈りたいものです。

私は、小学6年生の時開催された1972年の札幌オリンピックの70m級ジャンプで、笠谷、金野、青地3選手が金銀銅の表彰台独占したシーンが強烈な印象として残っています。日本中がその興奮に包まれました。学校では、教室でジャンプのマネをする男子の姿がいたるところで見られたことを思い出します。

皆さんはオリンピックと言えばどんな思い出がありますか。(野口)

